



7/28 海上自衛隊佐世保地方総監部 稲田丈司幕僚長離任挨拶



7/30 佐世保自衛隊後援会2025年度定期総会・防衛講話



5/8 第四師団長感謝状贈呈式



6/5 佐世保自衛隊後援会青年部 武者利勝団長表敬訪問

佐世保自衛隊後援会だより

（発 行）
佐世保自衛隊後援会
会長 金子 卓也
佐世保市湊町6番10号
（佐世保商工会議所内）
TEL (0956) 22-6121

佐世保自衛隊後援会



ホームページ

■陸上自衛隊第四師団長 感謝状贈呈式

5月8日（木）、陸上自衛隊第四師団長 戒田重雄陸将の代理として水陸機動団長 武者利勝陸将補が来所され、山口嘉浩副会長へ感謝状を贈呈いただきました。当後援会の副会長として、自衛隊パレードの実施や各種イベントにおける自衛隊広報ブースの設置、「させほ自衛隊グルメ」等を通じた地域住民への理解促進及び関係構築に努め、防衛基盤の育成に寄与されたことに対し感謝を述べられました。

■陸上自衛隊 婚活・恋活パーティー

水陸機動団主催の「婚活恋活パーティー」が相浦駐屯地で開催され、第1回となる4月26日（土）には陸上自衛官24名と市内外の一般女性21名、第2回となる8月10日（日）には陸上自衛官38名と一般女性37名が参加し、交流を深めました。初めて相浦駐屯地を訪れた女性も多く、自衛隊への理解を深める貴重な機会となりました。

■陸上自衛隊相浦駐屯地体験入隊

5月26日（月）～27日（火）の2日間、水陸機動団のご協力のもと体験入隊を実施し、市内企業から9名が参加しました。敬礼や行進などの基本教練、救急法やコンパコースなど陸上自衛隊の訓練の部を体験し、参加者からは「隊員の生活や任務を知る良い経験となった」等の声が聞かれました。

■佐世保自衛隊後援会青年部 水陸機動団長表敬訪問

6月5日（木）、当後援会青年部の片桐康利会長、川原讓副会長、藤井寿人副会長は水陸機動団長 武者利勝陸将補、高級幕僚 阿部俊文等陸佐への表敬訪問を行いました。片桐会長より、水陸機動団の皆様との交流促進等について要望をお伝えし、今後の連携について意見を交わしました。

■海上自衛隊取引支援セミナー

6月13日（金）、海上自衛隊佐世保地方総監部のご協力のもと、「視察研修・取引支援セミナー」を開催し、市内企業など23社28名が参加。佐世保地方隊の概況や令和6年度契約実績、入札制度の種類や各種手続きなどについてご説明いただきました。

■西海レスキュー（災害派遣実動訓練展示）

7月13日（日）、新みなと広場帯で陸海の自衛隊などによる災害派遣実動訓練展示「西海レスキュー」が初開催され、多くの市民が来場しました。

■多用途支援艦「あまぐさ」による災害復旧車両の搭載や海上消火、水上搜索などを実施。避難所などに設置する緊急入浴セットでは、来場者が湯加減を確認する姿も見られ、災害現場における自衛隊の活動を知り、災害への備えを見直す機会となりました。

■海上自衛隊佐世保地方総監部幕僚長 稲田丈司海将補 離任挨拶

7月28日（月）、海上自衛隊佐世保地方総監部幕僚長 稲田丈司海将補が離任挨拶のため来所され、金子卓也会長、山口嘉浩副会長が応対しました。稲田海将補は第4術科学校長、海上幕僚監部総務部長等を経て2024（令和6）年3月に佐世保地方総監部幕僚長に就任。この度の異動で海将へ昇任され、海上自衛隊大湊地区総監に着任されます。

■佐世保自衛隊後援会定期総会・防衛講話

7月30日（水）、九十九島ベイサイドホテル&リゾートフラッグにて当後援会の令和7年度定期総会を開催し、53名が出席。2025年度事業計画案や役員改選案などを含む6つの議案全て原案どおり承認されました。総会後は海上自衛隊佐世保地方総監 福田達也海将による防衛講話を開催。防衛講話の内容は次頁で紹介いたします。

※役職・階級は当時

2025(令和7)年度防衛白書(抜粋)

第Ⅱ部第3章第2節 2025年度防衛関係費の概要

防衛力の抜本的強化は、国家防衛戦略や防衛力整備計画に基づき、①スタンド・オフ防衛能力、②統合防空ミサイル防衛能力、③無人アセット防衛能力、④領域横断作戦能力、⑤指揮統制・情報関連機能、⑥機動展開能力・国民保護、⑦持続性・強靱性の7つの分野を中心に、計画的に進めることとしている。2025年度防衛関係費は、防衛力整備計画期間内の防衛力抜本的強化実現に向け、必要かつ十分な予算を確保した。歳出ベースは、事業の進捗状況や予算の執行状況も踏まえ、予算を着実に増額し、防衛力整備計画対象経費として8兆4,748億円（対前年度比7,498億円（9.7%）増）を計上した。

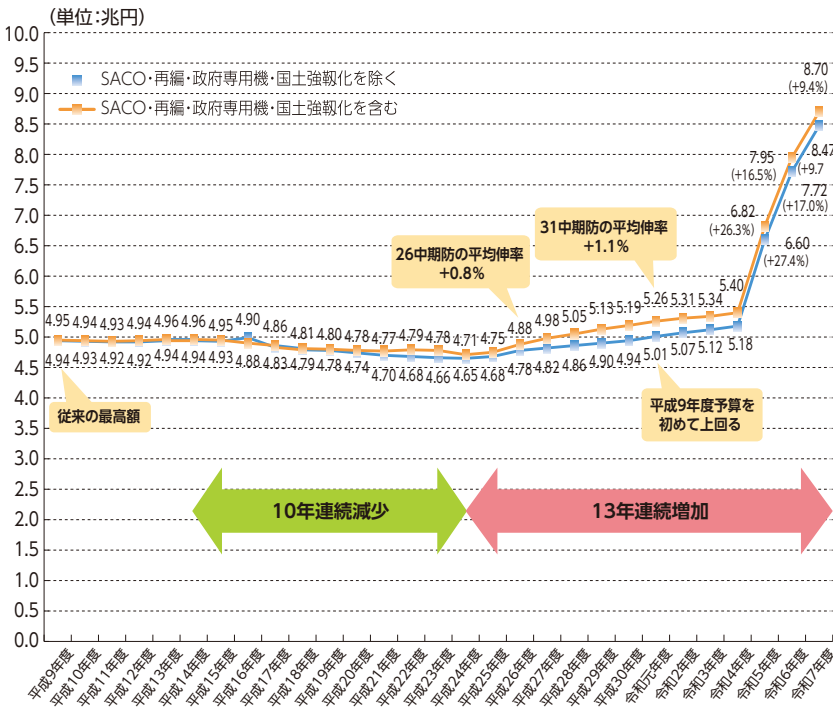
また、契約ベースは、2025年度中に着手すべき事業を積み上げ、防衛力整備計画対象経費として8兆4,332億円（対前年度比9,293億円（9.9%）減）を計上した。なお、予算の配分にあたっては、引き続き、防衛力整備計画を踏まえ、15区分に分類し、きめ細やかに進捗状況を管理することとしている。また、足下の物価高・円安のなか、防衛力整備の一層の効率化・合理化を徹底するとともに、経費の精査に努め、まとめ買い・長期契約などによる装備品の効率的な取得を一層推進することとしている。

図表Ⅱ-3-2-1 防衛関係費の2024年度と2025年度の比較

区 分		令和6（2024）年度		令和7（2025）年度	
				対前年度増▲減	
歳出額	うち人件・糧食費	77,249	84,748	7,498	9.7%
	うち物件費	22,290	23,508	1,218	5.5%
後年度負担額		54,960	61,240	6,280	11.4%
		135,006	153,886	18,880	14.0%
後年度負担額	うち新規分	76,594	66,211	▲10,383	▲13.6%
	うち既定分	58,412	87,675	29,262	50.1%

（注）1 上記の計数は、SACO関係経費と米軍再編関係経費のうち地元負担軽減分を含まない。これらを含めた防衛関係費の総額は、歳出額については、令和6（2024）年度は79,496億円、令和7（2025）年度は87,005億円になり、後年度負担額については、令和6（2024）年度は141,926億円、令和7（2025）年度は160,350億円になる。
2 予算額には、デジタル庁にかかる経費を含む。
3 計数は四捨五入のため合計と符合しないことがある。

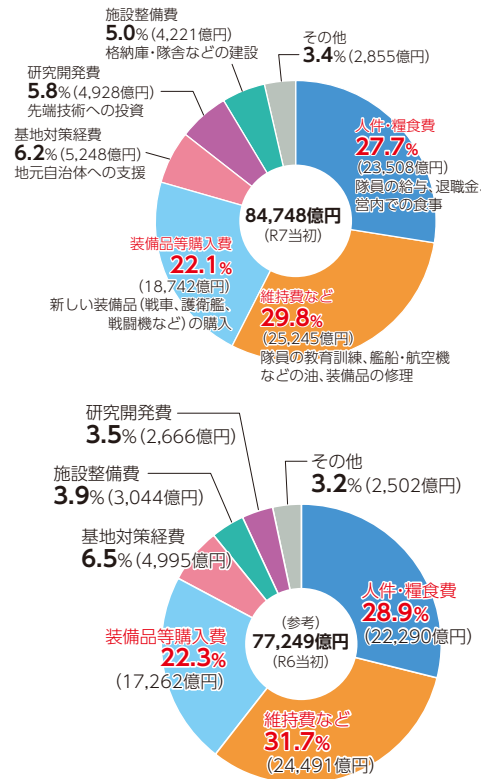
図表Ⅱ-3-2-2 防衛関係費（当初予算）の推移



（注）1 新たな政府専用機導入に伴う経費は、平成27年度から令和4年度に計上している。
2 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策に係る経費は、令和元年度および令和2年度に計上している。

（出典：令和7年版防衛白書）

図表Ⅱ-3-2-4 防衛関係費の使途別分類（2025年度）



7月30日
防衛講要
概要

「最近の海上自衛隊を取り巻く情勢と対応の方向性」

海上自衛隊佐世保地方総監 海将 福田 達也



自己紹介

第49代佐世保地方総監の福田達也でございます。1967（昭和42）年10月3日生まれ、57歳、大阪府八尾市の出身で、郷土の有名な同級生としては読売ジャイアンツで活躍しておりました桑田真澄選手、広島カープなどでキャッチャーをしておりました西山秀二選手などがおります。私自身も少年時代は熱心に野球に取り組んでおりました。

防衛大学校を1990（平成2）年に卒業し、海上自衛隊に入隊。1991（平成3）年に初任幹部として護衛艦くらま通信士を拝命し、以来2003（平成15）年までの間に4回佐世保で勤務しました。今回で5回目の佐世保勤務となっております。

それ以外の主要経歴といたしましては、第4護衛隊群司令の時に、ソマリア沿岸の海賊対処の任務にあたる多国籍部隊「第151連

合任務部隊」の司令官を経験しています。その後、掃海隊群司令、護衛艦隊司令官、呉地方総監等を経て、佐世保地方総監に着任しました。

戦略3文書の概要と策定の背景

「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」から成る「戦略3文書」は、2022（令和4）年10月に策定されました。ロシアによるウクライナ侵略が象徴するように、我が国を取り巻く安全保障環境は新たな危機の時代に突入しております。無人アセット機を活用した新しい戦い方も顕在化しており、例えば敵基地を攻撃する際には、大量の無人機を囲にして防空ミサイルを全弾消費させた後に、悠々と抵抗を受けることなく有人機で攻撃するなど、戦術が大きく変化しております。

一方、ロシアがウクライナに侵略するに至った背景といたしましては、ウクライナがロシアによる侵略を抑止するための十分な能力を保有していなかったことが要因の一つとして挙げられます。

従いまして、力による一方的な現状変更を強要する国から自国

を守るためには、侵略するのが困難であると相手に認識させて、思いどまらせる抑止力が非常に重要となります。我が国は相手の能力と戦い方に着目し、我が国を

防衛する能力をこれまで以上に強化していく必要があります。以上を背景として戦略3文書が策定されました。

国家安全保障戦略

昨今の対立と協力が複雑に絡み合う国際情勢を踏まえて作成された「国家安全保障戦略」は、国家安全保障に関する最上位の政策文書として位置付けられており、外交・防衛のみならず、技術・情報等を含む多様な分野において我が国政府としての横断的な指針を示しております。

第四章では、我が国を取り巻く安全保障環境上の課題を挙げ、中国を「これまでにない最大の戦略的挑戦」、北朝鮮を「我が国安全保障にとって、従前よりも層重大かつ差し迫った脅威」、ロシアを「中国との戦略的な連携と相まって、安全保障上の強い懸念」と示しています。

第六章では、我が国が優先すべ

き戦略的アプローチとして、外交を中心とした取り組みの展開、我が国の防衛体制の強化、米国との安全保障面における協力の深化、我が国を全方位でシームレスに守るための取り組みの強化、経済安全保障政策の促進などが示されております。

国家防衛戦略

これまでの防衛計画の大綱（防衛大綱）に代わる形で策定されたものが「国家防衛戦略」です。「国家安全保障戦略」を受け、3つの防衛目標と、それを達成するための3つのアプローチと手段が示されています。

「我が国の防衛目標」とはすなわち、「①力による一方的な現状変更を許容しない安全保障環境を創出すること」、「②力による一方的な現状変更やその試みに対し同盟国・同志国等と協力・連携して抑止・対処し、早期に事態を収拾すること」、「③我が国への侵攻が生起する場合、我が国が主たる責任をもつて対処し、同盟国等の支援を受けつつこれを阻止・排除すること」です。また3つのアプローチとして、「①我が国自身の防衛体制の強化」、「②日米同盟による共同抑止・対処」、「③同志国等との連携の強化」が示されています。

第四章では防衛力強化にあたって重視する7つの能力・機能として、遠距離から阻止・防止できるようにする「①スタンド・オフ防衛

能力」「②統合防空ミサイル防衛能力」、陸海空の既存の領域のみならず、宇宙、サイバー、電磁波などの新たな領域を含め、横断的に優越を獲得し、非対称的に優越を獲得するための「③無人アセット防衛能力」「④領域横断作戦能力」

「⑤指揮統制・情報関連機能」、迅速かつ粘り強く長期にわたって活動し続けて相手の侵攻を断念させるための「⑥機動展開能力・国民保護」「⑦持続性・強靱性」が記載されています。また、第五章では将来の自衛隊の在り方として、7つの重視分野における自衛隊の役割や体制整備の考え方が記されています。

防衛力整備計画

第2章では、「国家防衛戦略」に示す防衛目標を達成するための方向性が計画の方針として示されています。2027年までは同盟国等の支援を受けつつ、敵の侵攻を阻止・排除しうる防衛力を構築し、概ね10年後までには、より早期かつ遠方で侵攻を阻止・排除するための防衛力を強化するとされています。

第2章では、「国家防衛戦略」が示す7つの柱ごとの防衛力の目標を明らかにしています。「①スタンド・オフ防衛能力」については、トマホークを始めとする長射程ミサイルを導入すること、「②統合防空ミサイル防衛能力」については、イージス・システム搭載艦を建造してい

くこと等です。また「③無人アセット防衛能力」については、UAV（無人機）、USV（無人水上航走体）、UV（無人水中航走体）等を整備していくこと、「⑦持続性・強靱性」については弾薬・誘導弾等の整備推進、装備品の可動数向上、施設の強靱化等を進めていくことが挙げられています。

第3章では自衛隊の将来体制等として、「国家防衛戦略」に比してより具体的な体制が記載されています。海上自衛隊については、情報戦基幹部隊「情報作戦集団」の新編、高い迅速性と活動量を求められる統合運用を持続的に遂行するための部隊改編等を実施しています。統合運用体制においては、陸海空自衛隊の二元的な指揮を行い得る常設の「統合作戦司令部」の新編の他、「自衛隊サイバー防衛部隊」の拡充、統合海上輸送部隊である「自衛隊海上輸送部隊」が新編されております。併せて本計画では、主要装備品の整備数量や5ヶ年における本計画の実施に必要な経費の総額（43兆円程度）が示されています。

海上自衛隊基本ドクトリン

次に「海上自衛隊基本ドクトリン」についてご説明します。これまで海上自衛隊の任務遂行にあたり進捗すべき事項や考え方は、各種教育の機会を活用して隊員に教育してまいりましたが、幹部、下士官、事務官等問わず全ての隊

員が閲覧して、把握できる形で整備された文書はありませんでした。このため、すべての海上自衛隊員に広く周知することを目的に「海上自衛隊基本ドクトリン」を作成し、令和6年12月に発簡しました。

全四章構成となっており、第1章の「シーパワー」では、海軍の役割、海軍の特性、海軍が実力行使を行う目的を記載。第2章の「海上防衛力の役割」では、我が国は海洋国家であり、創設から積み重ねてきた海上防衛力としての伝統を保有していること而言及、海上自衛隊が達成すべき目標とその目標を達成するために実施する活動について示しています。第3章の「海上自衛隊の活動」では、ロジスティクス、作戦術、機動戦と消耗戦、情報戦、各種戦の要素について提示するとともに、任務に適した部隊の編成と指揮系統の明確化について述べております。第4章の「シーパワーとシーマンシップ」では、海上自衛隊の「人」に求められる資質について提示すると共に、リーダーシップとシーマンシップの必要性と、指揮・統率・管理など指揮官が準拠すべき考え方や事項が記載されております。

本ドクトリンは海上自衛隊ホームページから閲覧できますので、広く国民の皆さんや諸外国にも知っていただくことにより、海上自衛隊への理解をさらに深めていただくことを期待しています。

海上自衛隊の体制強化に係る取り組み

海上自衛隊は統合運用体制のさらなる強化が不可欠であるという認識のもと、高い迅速性と活動量を求められる部隊運用を持続的に遂行する体制の構築が必要とす。他方、日本全体で労働者が減っている状況の中で、組織定員の最適化を図るために既存部隊の見直しが必要であります。そこで基幹部隊の見直しを実施し、新たな体制の構築に着手してまいります。

具体的には、海上自衛隊の艦艇・航空機の作戦運用の中心となる自衛艦隊司令部の機能を強化するため、自衛艦隊司令部に新たに幕僚副長を設置しました。また、情報戦基幹部隊の新編、無人機部隊の新編を行います。そして5つの地方隊の改編も計画され、本年3月に大湊地方総監部を大湊地区総監部に改編、横須賀地方総監部の隷下部隊となっております。

さらに令和7年度末には、水上艦艇部隊を二元的に指揮・監督する体制を整備するため、現在の護衛艦隊と掃海隊群、地方隊隷下の艦艇等を集約した形で、「自衛艦隊」の隷下に「水上艦隊」が新編されます。これに伴い、護衛艦隊、掃海隊群は廃止され、「水上艦隊」の隷下に3個の「水上戦群」、1個の「水陸両用戦機雷戦群」、1個の「哨戒防備群」が新編されます。

水陸両用戦機雷戦群の概要

令和7年度末の改編により、佐世保においては第2護衛隊群が廃止となり、新たに「水陸両用戦機雷戦群」が編成されます。部隊は改編されますが、佐世保を母港とする艦艇数と乗員数に変化はなく、むしろ水陸両用戦機雷戦群司令部が新編されることにより、司令部幕僚等の人数が約40名程度増員されることとなります。

また、輸送艦、掃海母艦、掃海艦艇などの全てが「水陸両用戦機雷戦群」の隷下となります。今後は水陸両用戦や機雷戦に関わる作戦、錬成訓練等についても水上艦隊司令官の下で二元的になされ、効率的かつ効果的な部隊運用が期待されています。陸上自衛隊水陸機動団との連携も強化されることとなります。

崎辺東地区施設整備の概要

昨今の南西諸島方面における情勢に鑑み、佐世保地区を当該方面における後方支援基盤と位置づけ、水陸両用戦機雷戦群と陸上自衛隊水陸機動団の連携の強化に資するべく、崎辺西地区において陸上自衛隊崎辺分屯地との連携を深化させていきます。

崎辺東地区においては大型艦艇等が係留可能な大規模な岸壁を整備し、併せて陸上部分に後方支援施設を整備していきます。各種事態及び災害派遣に必要な物資等の補給倉庫や集積地を整備



海上自衛隊基本ドクトリンはこちらからご覧いただけます。



INTERVIEW

海上自衛隊 × 陸上自衛隊 × 佐世保自衛隊後援会 三者対談

特別号
2025年9月

ともに2025年3月24日付で佐世保に着任された福田達也総監と武者利勝団長。
世界情勢が刻々と変化の中で、基地と共にある町『佐世保』が未来に向けて、
現在なにをすべきなのか。佐世保での勤務にかける想いをお伺いしました。



陸上自衛隊第5代水陸機動団長
武者利勝 陸将補

昭和51年3月19日生 群馬県出身
防衛大学校を卒業後、グラン高原PKO派遣輸送隊長、水陸機動
団第2水陸機動連隊長等を歴任。
(写真：左から2番目)

海上自衛隊第49代佐世保地方総監
福田達也 海将

昭和42年10月3日生 大阪府出身
防衛大学校を卒業後、第4護衛隊群司令、第151連合任務部隊司
令官、掃海隊群司令、護衛艦隊司令官、呉地方総監等を歴任。
(写真：右から2番目)

武者団長 2021（令和3）年12
月に第2水陸機動連隊長を下番してか
ら約3年ぶりに再びこの地で水陸機動
団長として勤務できることを大変光栄
に思うと同時に、その重責に身の引き
締まる思いです。水陸機動団は新編か
ら7年が経過し、第3水陸機動連隊の
編成を経て規模は大きくなりましたが、
まだ「のびしろ」があると思います。
引き続き質の向上を図り、各種任務に
対応できる強い水陸機動団を育成した
と思います。

各部隊が有する機能をいかになく発
揮できるように、総監として隷下部隊
をしつかりと指揮統率し、「西海の護
り」を強化すると共に、長崎県・佐世
保市はもとより管轄する各県の皆様に
愛され、そして信頼される部隊を作り
上げたいと思っています。

福田総監 佐世保地方隊は、戦略的
要衝である東シナ海から太平洋、日本
海、南シナ海へと通じる国際海峡を警
備区に擁し、日本の海上防衛の最前線
ともいべき「西海の護り」を担任し
ています。

お二人は今年3月に佐世保に着任
されました。まずは、佐世保勤務に
あたつての抱負をお願いします。



隊員がこれからも佐世保勤務を熱
望し、根付くことが強靱で健全な部
隊育成及び地域経済の発展のため
も重要かと思えますので、相浦及び崎
辺地区を含めて暮らしやすい街づく
りについて要望させていただきたいと
思います。

金子会長 商工会議所と自衛隊後
援会では、佐世保の町は基地の町と
共にあるとの基本理念に基づき、基地
と結びついた地域活性化を最重点目
標に掲げています。これから未来の佐
世保の町をどう形作るのか、いわゆる
「グランドデザイン」を行政や関係機
関の皆様と共に考えるとき、佐世保
の歴史や産業と切っても切れない「基
地」を重要な軸とした街づくりを提
唱していきたいと常日頃思っています。

**日々厳しい任務でお忙しいと思
いますが、趣味や息抜き、楽しみ
にされていることなどあれば教
えて下さい。**

福田総監 ランニングが趣味の一
つなので、シーサイドパークや五番
街、パールシーリゾートや弓張岳な
どをランニングで巡るのが好きです。
他にも風光明媚な観光地や歴史を有
する史跡がたくさんあるので、ラン
ニングを兼ねて巡りたいと考えてい
ます。

武者団長 趣味はジョギングです。
弓張岳をジョギングし、山頂から眺
める景色が特に気に入っています。
今年2月には熊本県で開催された

「熊本城マラソン」に参加しました。

金子会長 指揮官自ら体力錬成に
余念が無いんですね。お二人が部隊
の精強性を重視される姿勢はこうい
うところからも窺えると思います。

**最後に、仕事をする上でのモットー
を教えてください。**

福田総監 勤務上の指針として
「意識改革・創意工夫」を掲げてい
ます。

厳しい安全保障環境を受けて、自
衛隊に求められる役割は大きく変化
し、我々の任務や活動の内容も劇的
に変容しています。このような状況
の下、あらゆる事態に適切に対応す

るとともに、広範多岐にわたる任務
等を的確に遂行するためには、既成
概念に捉われない「意識改革」が必
要です。また、限られた人的・物的
・財政的資源を有効に活用しつつ、
我々の保有する能力を最大限に高め、
その能力を効果的に発揮していくに
は「創意工夫」が不可欠であると考
えています。

武者団長 「Be Flexible」です。
2013年に留学した米国海兵隊
指揮幕僚課程で学びました。千変
万化する上陸地域の状況に臨機に
対応しつつ、リスクを局限して任
務を遂行することが大事だと思っ
ています。これは、普段の業務に
おいても同様に大事だと思ってい
ます。

**福田総監、武者団長、貴重なお話を
お聴かせいただきありがとうございます。
佐世保がこれからも自衛隊の皆様
と共存共栄できるよう取り組んで
参ります。**

佐世保の町の印象をお聞かせください。

福田総監 佐世保は私にとつて1991(平成3)年に護衛艦「くらま」に初任幹部として勤務を始めた思い出の地です。自衛隊及び米海軍基地が所在する基地の町で、市民の皆様に温かく迎えられ、自衛官として大変住みやすい街であると感じるとともに、帝国海軍佐世保鎮守府から伝承された歴史と伝統ある当地での勤務を大変光栄に思います。

武者団長 私も佐世保に住んでみて、地域の皆様が部隊を受け入れて下さっているというホスピタリティをすごく感じます。また、佐世保は景色のきれいな町、弓張岳からの九十九島と佐世保港の眺めは大変素晴らしいと感じます。

金子会長 佐世保は帝国海軍の鎮守府設置にはじまり、そこに全国から仕事を求めて人が集まり、村から急激な成長を遂げた歴史を持っています。私たちはその歴史を大切にしながら、基地と共存共栄していけるような街づくりをしたいと考えています。佐世保に赴任される隊員の皆様にはぜひ家族帯同で来ていただきたいですし、單身の方にはここで家族を築いてもらえればとても嬉しいです。そのために隊員の

皆様の住環境の改善に向けた働きかけや、佐世保自衛隊後援会で婚活イベントを企画するなど、今後も支援していきます。

お二人ともこれまで様々な部隊での勤務経験をお持ちですが、特に印象深いものはありますか？

福田総監 これまでの勤務で印象深かったものは二つあります。一つは2017(平成29)年にソマリア沖アデン湾で海賊対処にあたる多国籍部隊の司令官としてバーレーンに勤務した時です。このとき、2012(平成24)年から全くなかった海賊による船舶乗っ取り事案が6件立て続けに起こり、警戒監視を強化するとともに、商船・海運業界に海賊対策の啓蒙活動を行いました。これらの対策が功を奏し、海賊事案が生起しない状況を作り出すことが出来ました。



「自衛官」という職業と「国防」という使命の崇高さに「誇り」を持ち、与えられた職責に「やりがい」を感じるような道徳、職業倫理教育を実施しています。

これらを通じて隊員の充実感、達成感を高め、部隊の精強性の向上に繋げることも人材育成の重要な側面と言えます。

武者団長 水陸両用作戦を遂行する上で、我々水陸機動団内の各部隊内での信頼関係はもちろん、共に行動する海上自衛隊、航空自衛隊はじめ、他の陸上自衛隊の諸部隊や米海兵隊等、多くの「バディ」との連携が極めて重要であり、さらには地域の方々にも信頼される強靱で健全な部隊と人材を育成しなければなりません。

このような観点から隊員には「攻めよ」「備えよ」の二点を要望しています。「攻めよ」とはすなわち現状に甘んじることなく、チームとして、個人として貪欲に目標に向かって「挑戦せよ」という事です。「備えよ」とは、水陸両用作戦は極めて流動的であり、かつ「即応性」も重要であるため、リスクを局限しつつあらゆる任務を遂行できるよう平素から「備えよ」という事です。水陸機動団が陸上自衛隊「唯二」の水陸両用専門部隊であるという誇りと

もう一つは2018(平成30)年7月に生起した西日本豪雨災害への対応です。現場指揮官として災害対応にあたり、給水・入浴支援や慰問演奏を行いました。被災者からは「海上自衛隊の皆さんも被災しているのに支援していただき感謝している」といった言葉をたくさんいただき、我々が励みされたとともに、海上自衛官という職業を誇りに思いました。

武者団長 2020(令和2)年3月から翌年12月まで水陸機動団で第2水陸機動連隊長として勤務しました。部隊を「から編成し、戦力化すること」に大変苦労しましたが、とてもやりがいを感じながら取り組むことができました。その甲斐あって全国から集まった隊員と共に、連隊の戦力化を成し遂げたことが特に印象深いことです。

お二人が任官されて以来、自衛隊を取り巻く環境で大きく変わったなと感じることはありますか？

福田総監 海上自衛隊への任官は、冷戦終結が宣言されたマルタ会談の翌年の1990(平成2)年3月であり、冷戦の終結によって、これから世界に平和が訪れるような雰囲気もありました。しかし冷戦後の国際情勢は

自覚を胸に、隊員が澁渕と任務に当たることを期待するとともに、団長自ら諸官の先頭に立つことを心掛けています。

佐世保に求めることはありますか？

福田総監 先ほども申し上げましたが、佐世保市民の皆様には大変温かく迎えていただき、我々の任務と活動にもご理解賜り、様々な形でご支援、ご協力を頂いていることに深く感謝申し上げます。

引き続き「基地の町」として自衛隊及び米海軍へのご支援ご協力を賜るとともに、共に発展していく街づくりを目指していただければ幸いです。我々海上自衛隊としても、「地域の皆様と共に」をモットーに、「地域社会との連携」を強化し、地域の発展に少なからず貢献したいと考えています。

武者団長 引き続き自衛官募集や退職自衛官に対する再雇用への協力をいただければ幸いです。また、隊員家族を含めた暮らしやすい環境が大変重

テロリズムの台頭により混乱を極め、我が国周辺においても中国、ロシア、北朝鮮など力による現状変更の試みと、それらの国々の連携等により戦後最も厳しくかつ複雑なものになってきています。加えて地震、津波等自然災害の頻発・大規模化など自衛隊に求められる役割が多様化するとともに、寄せられる期待も任官当時とは比較にならないほど大きくなっていると感じます。



武者団長 今、国際社会は戦後最大の試練の時を迎え、既存の秩序は深刻な挑戦を受け、新たな危機の時代に突入していると感じます。中国は、尖閣諸島周辺を含む海域で活動を活発化させ、「連合利剣」と称する大規模演習を繰り返すほか、軍用機並びに艦艇による我が国領空、領海への侵入事案は後を絶ちません。

また、北朝鮮は核・ミサイル開発を

要です。

水陸機動団が創設された際には全国から隊員を集めました。今では相浦で自衛官人生を始めた隊員も多くなってきました。ここで結婚し、子供が出来た隊員も増えています。

